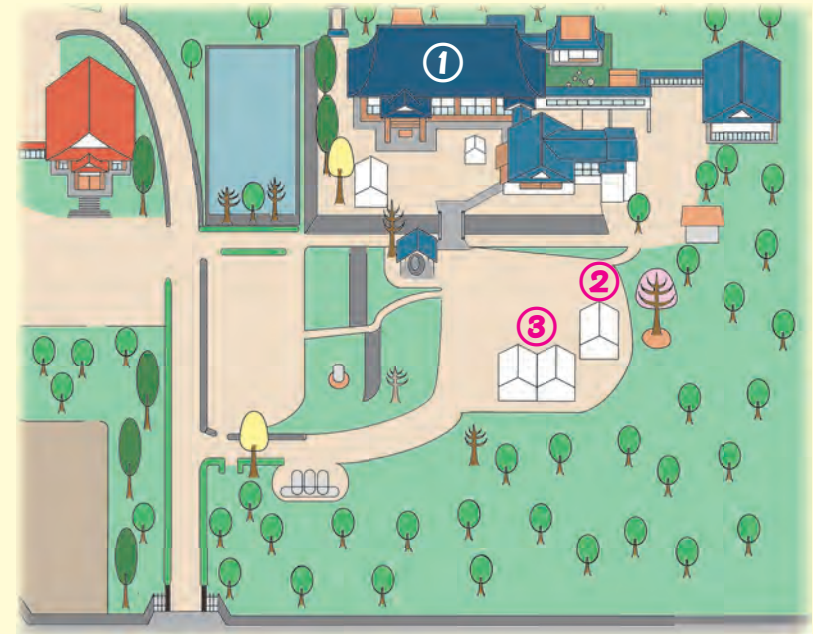


甘酒と姫だるま

お正月にも…

前頁でも触れたように、節分大祭時だけではなく、大晦日から一月二日まで、聖地・天恩郷においても、甘酒接待や福引きを行っています。初詣が終わったら、福引きで新しい年の運試し！。そのあとは、温かい甘酒（ノンアルコール）で、おかげと元気を存分に頂いてください。毎年の初詣は、ぜひ、亀岡・天恩郷へ！お待ちしております！！



- ① 万祥殿 …初詣はこちらどうぞ
 - ② 福引き …たくさんの福が当たりますように
 - ③ 甘酒接待 …温かい甘酒で、心も体もホッとひといき
- ※詳しい苑内地図は、大本いろはNo. 14 をご参照ください。



大本では、節分大祭（No. 1 参照）の折、甘酒接待や福引き所が設けられ、多くの参拝者でにぎわいます。福引きでは、当たりが出れば姫だるまが下付され、参拝者に喜んでいただける恒例行事の一つとなっています。しかし、この甘酒接待も姫だるまの下付も、単なる行事ではなく、大本にとっては大切な意味が込められているのです。その大切な意味とは…。詳しくご説明いたしましょう。



みろく博士

大本本部

綾部・梅松苑 綾部祭祀センター
〒623-0036
京都府綾部市本宮町1-1 梅松苑 / TEL 0773 (42) 0187

亀岡・天恩郷 亀岡宣教センター
〒621-8686
京都府亀岡市天恩郷 / TEL 0771 (22) 5561

東京本部 東京宣教センター
〒110-0008
東京都台東区池之端 2-1-44 / TEL 03 (3821) 3701

大本ホームページ <http://www.oomoto.or.jp/>
※「大本いろは」は大本ホームページ（信徒専用ページ）から、カラーでダウンロードできます



<連絡先>



日本の伝統食、甘酒

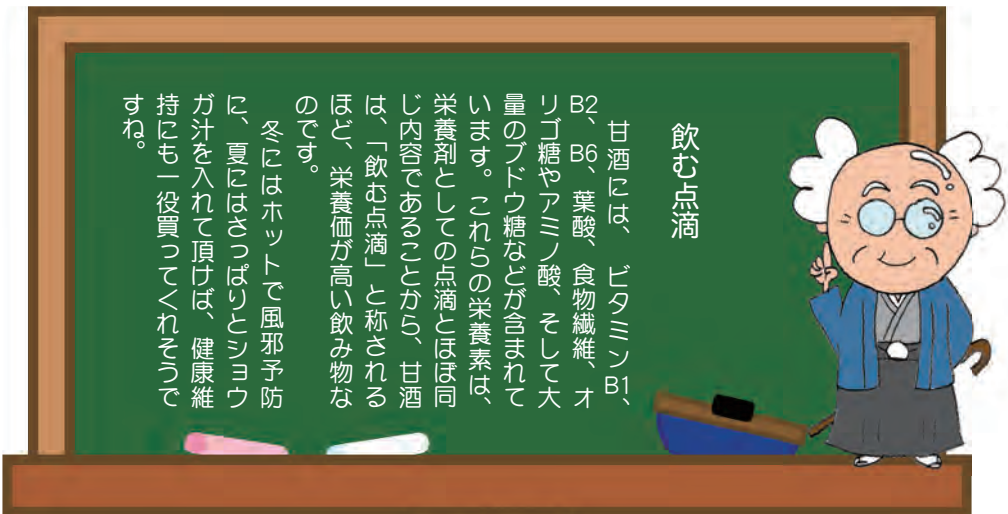
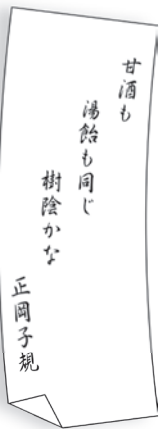
甘酒は、主に米こうじと米、あるいは酒かすを原料とした、日本の伝統的な甘味飲料です。

その起源は古墳時代にさかのぼり、「日本書紀」には、甘酒の起源とされる天甜酒（あまのたむぎけ）に関する記述があります。

江戸時代には、体力回復に効果的な「夏の栄養ドリンク」として人気が高く、「甘い、甘い、あ〜ま〜さ〜け〜」などの文句をうたいながら行商が町を歩く姿は、夏の風物詩となっていました。

当時の江戸幕府は、庶民の健康を守るため、甘酒の価格を安く抑え、誰でも購入しやすいよう配慮したといわれます。

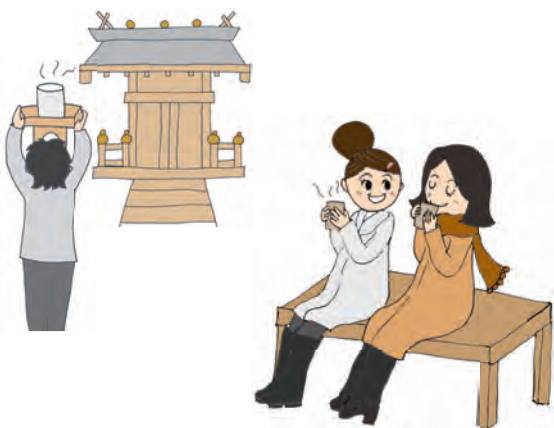
また、俳句にも、夏の季語として登場するなど、古くから、日本人にとってなくてはならない食文化の一つでした。



飲む点滴

甘酒には、ビタミンB1、B2、B6、葉酸、食物繊維、オリゴ糖やアミノ酸、そして大量のブドウ糖などが含まれています。これらの栄養素は、栄養剤としての点滴とほぼ同じ内容であることから、甘酒は、「飲む点滴」と称されるほど、栄養価が高い飲み物なのです。

冬にはホットで風邪予防に、夏にはさっぱりとショウガ汁を入れて頂けば、健康維持にも一役買ってくれそうですね。



祈り・感謝の意を込めて

現代においては、昔ほど需要はなくなったものの、正月に参拝客に甘酒を振るまつたり、お持ち帰り用に販売したりする社寺が数多くあります。これは甘酒を頂くことで無病息災を願う意味もあるのだとか。「夏の風物詩」ならぬ「冬の風物詩」といったところでしょうか。

また、米農家が、その年の収穫を感謝するため、甘酒を造ったり、その土地の祭りに甘酒をお供えする風習が残っている地域もあります。

姫だるま、こぼれ

節分大祭時には、甘酒接待と同様、福引き所が設けられ、大祭に訪れた参拝者が列をなします。ここでは、見事に当たりができれば、だるまが下付されます。

「だるま」と聞くと、選挙などで目玉を書き入れる大きく、強そうな顔をしたものを想像されるかもしれませんが、大本で下付されるものは、かわいらしい女性の姿をした姫だるま。一等から三等まで、大小三種の姫だるま、その他、木製の姫だるま、豆だるまが準備されています。

大本では、だるまは神さまの化身とされていて、その福徳にあやかろうと、毎年多くの方が訪れています。



節分と甘酒

大本では、二月三日の節分大祭の折に、聖地・梅松苑で甘酒接待が行われています。

大本においても、甘酒を頂くことは、深い意味があります。

二代教主・出口すみこは、節分と甘酒の由来について次のように述べています。

「大本の節分のお祭りは、長年の間天地の良（よ）におはいりになっておられた先祖の神さまが、いよいよ時節が参り、明治二十五年、開祖さまに神がかりになりました。この世にお上がりになりましたまことに結構なお祭りでございます。」

その節分祭に皆さんがあがっていた甘酒は、天地の元の神様が世に上げられましたとき、お祝いとしてお供えになったのが甘酒でありまして、その甘酒をあやかっていたのであります。」

そして、この甘酒を飲むことで、神さまからの大きなおかげを頂き、悪事災難のけがれをはらっていただけにとも示されています。大本にとつて甘酒は、大変に意義深く、ありがたい飲み物なのです。



かわいらしい姫だるまたち。節分大祭以外に、聖地・天恩郷では、お正月に福引きが行われ（次頁参照）、金・銀・銅賞と1等から5等まで大小さまざまな姫だるまが下付されます